

15. 多剤耐性緑膿菌による院内感染発症件数

項目の解説

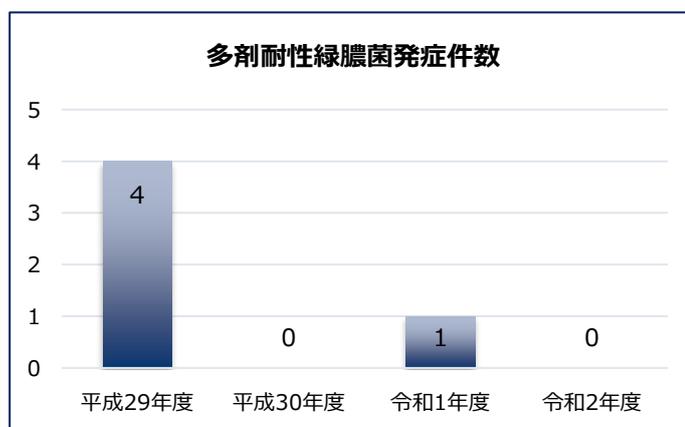
免疫力が低下した患者が多剤耐性緑膿菌に感染すると、難治性の感染症を引き起こします。院内の手洗いを励行するなど、適切な院内感染予防対策の実施により、発症頻度を低減することが可能です。この指標は、院内感染予防対策の実施と、その効果を示す指標といえます。なお、この指標の集計に際し、対象となる菌が検査で検出されているが、発症が認められない症例については除外しています。

算式

実数

当院の実績

令和02年度	0件
令和01年度	1件
平成30年度	0件
平成29年度	4件



定義

当該年度1年間の新規多剤耐性緑膿菌発症患者です。
保菌者による持ち込み患者は除きます。